

野村 実 監修／国 沢 卓 之 編集

初心者から研修医のための

経食道心エコーⅡ

－部長も科長ももう初級者



前作の「初心者から研修医のための経食道心エコー—部長も科長もみんな初心者」はピンク本と呼ばれており、私の周囲でも TEE を始める者のバイブルとして定着している。ピンク本は、いわゆる TEE の手引き書としては異例の形態と内容で、これが上梓されたときには非常に驚かされた記憶がある。ピンク本は、今、読み直してみても新鮮である。従来いわゆる教科書は、権威のある著者が、重要であるにかかわらずすべてを網羅する形になっている。教科書を作る方々は楽しめるが、勉強する側からみれば、つまらない書籍になりがちである。TEE のようにその手技をマスターしてナンボの世界では、権威がある教科書で学ぶより心構えや情熱もあわせて伝える手引き書が必要だと思う。そういった手引き書にも段階があることを知らせてくれるのが、今回の「初心者から研修医のための経食道心エコーⅡ—部長も科長ももう初級者」である。前作をピンク本と呼ぶならば、本書は表紙が緑色のグリーン本である。ピンク本の続編のようなタイトルであるが、全く異なるレベルの本である。本書では、TEE のさまざまな内容が微に入り細に入り解説がなされている。[A] TEE ステップアップ、[B] TEE 基本断面の描出、[C] TEE 症例の要点、[D] 上級編、[E] 資料、という5つのパートから構成されており、A は約半分を占める TIPS 集になっている。型にはまって順番に覚えていくのではなく気の向いたところからというアイデアは、TEE を飽きさせないコツなのかもしれない。B では画像の連続性と立体的イメージが認識できるように図解が秀逸であり平面的な画像が立体的につなげられる。C の症例の要点では症例別の重要ポイントが並んでいて、困った症例の判断の拠りどころになりそうな記載が多い。D ではかなり高度な判断が要求される場合の筋道を示している。E の資料集は一覧したい図や表がまとめられている。いずれをとっても“これまでにはない”、“オタク度の高い” TEE 本である。

タイトルにある部長も科長も“もう初級者”の意味は、既に初級者なので中級や上級の内容

- ・真興交易株式会社出版部
- ・2012年8月20日 第1版第1刷発行
- ・B5判/550頁/並製本
- ・定価(本体12,500円+税)
- ・ISBN 978-4-88003-866-7

が必要だということだろう。タイトルから「初心者」と「初級者」は全く別のカテゴリであることに気づかされる。「初心者」とは TEE の概要を知らない段階にいる者のことである。一方、「初級者」は、TEE の概要を知った者＝「経験者」を分類する語の1つである。すなわち、初心者、経験者(初級、中級、上級)というカテゴリ分けなのである。

周術期管理において TEE を学ぶ者の登竜門である JB-POT では、本書でいう中級以上のレベルまで要求される。逆に、本書のような切り口で考えておけば、JB-POT の試験対策にもなる。TEE を学ぶなら前作のピンク本は基本中の基本であり「初心者」の手引き書である。それに対して、少しでも TEE を行ったことのある「経験者」は、このクニタク(国卓)のグリーン本をマスターすべきだろう。TEE をきわめたいのなら必携であり、TEE を教えた場合にも必携である。

最後に、書籍の名前にしてもいいことがある。前作を「ピンク本」と呼ぶと周りの看護師や ME などに勘違いされ、ちょっと恥ずかしい思いをすることがあったが、今度は「グリーン本」なのでそのような誤解を招く心配がない。これは、うれしいことである。

讃岐美智義

(広島大学病院麻酔科)